

報告書管理体制加算に対する自作確認システムの構築

宮城県立こども病院 放射線部 ○本郷 悠知(Hongo Yuto)

佐々木 正臣 佐々木 清昭

【目的】

当院で使用している電子カルテの機能では医師の報告書確認状況の把握に時間がかかる状況となっていたため、報告書確認状況の把握と未確認報告書の確認依頼文書の作成の業務の効率化を目的とした。

【使用機器】

電子カルテシステム MegaOakis Ver.7.2.6_4
NEC社製

放射線情報システム Prosum RIS メディア社製
Excel VBA

【方法】

当院の電子カルテの機能では、報告書確認状況一覧画面で表示されたデータをCSVファイルとして保存することができる。しかし、確認できる情報としては患者ID、報告書作成日、報告書の既読、未読であり、検査種等の情報はない。RISのデータベースには検査種を含めた報告書に関する全情報があるため、電子カルテのCSVファイルとRISのデータベースに対して、ExcelのMicrosoft Queryの機能を使用し、RISのデータベースから必要な情報を取得、表示できるツールをExcelのVBAとExcel関数を用いて作成した。

【結果】

作成したツールをFig.1に示す。各機能を割り当てたボタンを配置し、使用用途ごとにタブを切り替えて実行できるようにした。これらはクリック操作のみで実行可能とした。

Excelのインポート機能でCSVファイルを読み込み、この際に患者ID、報告書作成日を取得する。取得した患者IDと報告書作成日を検索キーとしてRISデータベースにQueryを行い、必要な情報を取得し、作成ツールのRIS_DBシート上に読み込まれる。読み込まれたデータはFig.1に示す確認リストに表示される。表示する段階でRIS_DBシートに報告書確認日の履歴があれば確認リストの報告書確認日欄へ表示される。この動作はFig.1のファイル読み込みボタンのワンクリックで可能とした。報告書確認日が未読から既読となった場合には報告書確認日を入力し、Fig.1の確認日記憶ボタンをクリックすることでRIS_DBシートに保存される。以上より作成したExcelシート上で報告書確認の既読、未読も含めて容易に確認することを可能とした。

確認リストに表示された情報をフィルタ機能を使用し、Fig.2に示す様に未読検査のみ抽出する。その後、Fig.3に示す様にスライサー機能を使用して未読検査の診療科、依頼医師を自動でリストアップし、選択印刷ボタンのクリックで確認依頼文書の

[illegible]

Fig.1 作成ツール（確認リスト）

◆検査報告書の確認チェック				チェック基準日		チェック実施日		確認平均日数																
				7日	14日	表示:	20件	2024年3月7日	(木)	総数:	20件	基準超過:	20件	3.3日										
印刷対象 0件				◆印刷済数: OFF		ファイル選定		◆読み込みファイル名: 20240214結果通知-既通知-既済.csv		2/29から 2/29まで		前日		本日	翌日	Calendar	全消去		確認日 記 数		記憶期間 60日		(52日/16件) 1件記憶中	
印刷	No.	検査日	時刻	報告作成日	患者ID	患者氏名	検査種別	検査部位	臨床診断	診療科名	入/外	依頼医名	報告確認日	経過 日数	RIS検査 No.	Order No.								
	2	2024/2/29	10:14	2024/2/29	10002	テスト患者-2	CT	腹部骨盤	疾患名2	集中治療科	入	依頼医師-2		7	100010002	2000010002								
	3	2024/2/29	9:39	2024/2/29	10003	テスト患者-3	超音波	頸部1コー	疾患名3	アレルギー科	入	依頼医師-3		7	100010003	2000010003								
	5	2024/2/29	13:06	2024/2/29	10005	テスト患者-5	核医学	DMSA腎シンジ	疾患名5	泌尿器科	外	依頼医師-5		7	100010005	2000010005								
	6	2024/2/29	12:07	2024/2/29	10006	テスト患者-6	超音波	腹部-奇形腫12-	疾患名6	新生児科	外	依頼医師-6		7	100010006	2000010006								
	7	2024/2/29	14:32	2024/2/29	10007	テスト患者-7	CT	胸部大血管	疾患名7	心臓血管外科	入	依頼医師-7		7	100010007	2000010007								
	10	2024/2/29	11:40	2024/2/29	10010	テスト患者-10	超音波	頸部1コー	疾患名10	リウマチ科	外	依頼医師-10		7	100010010	2000010010								
	11	2024/2/29	13:30	2024/2/29	10011	テスト患者-11	CT	胸部	疾患名11	リウマチ科	入	依頼医師-11		7	100010011	2000010011								
	12	2024/2/29	10:09	2024/2/29	10012	テスト患者-12	MR	脳	疾患名12	新生児科	入	依頼医師-12		7	100010012	2000010012								
	14	2024/2/29	14:32	2024/2/29	10014	テスト患者-14	CT	胸部大血管	疾患名14	心臓血管外科	入	依頼医師-14		7	100010014	2000010014								
	15	2024/2/29	15:31	2024/2/29	10015	テスト患者-15	超音波	頸部1コー	疾患名15	消化器科	入	依頼医師-15		7	100010015	2000010015								
	16	2024/2/29	13:21	2024/2/29	10016	テスト患者-16	MR	脳	疾患名16	消化器科	外	依頼医師-16		7	100010016	2000010016								
	17	2024/2/29	11:40	2024/2/29	10017	テスト患者-17	超音波	頸部1コー	疾患名17	リウマチ科	外	依頼医師-17		7	100010017	2000010017								
	18	2024/2/29	13:30	2024/2/29	10018	テスト患者-18	CT	胸部	疾患名18	リウマチ科	入	依頼医師-18		7	100010018	2000010018								
	20	2024/2/29	10:09	2024/2/29	10020	テスト患者-20	CT	胸部大血管	疾患名20	心臓血管外科	入	依頼医師-20		7	100010020	2000010020								
	22	2024/2/29	14:32	2024/2/29	10022	テスト患者-22	超音波	頸部1コー	疾患名15	消化器科	入	依頼医師-15		7	100010022	2000010022								
	24	2024/2/29	15:31	2024/2/29	10024	テスト患者-24	MR	脳	疾患名16	消化器科	外	依頼医師-16		7	100010024	2000010024								
	26	2024/2/29	13:21	2024/2/29	10026	テスト患者-26	超音波	頸部1コー	疾患名17	リウマチ科	外	依頼医師-17		7	100010026	2000010026								
	28	2024/2/29	11:40	2024/2/29	10028	テスト患者-28	CT	胸部	疾患名18	リウマチ科	入	依頼医師-18		7	100010028	2000010028								
	30	2024/2/29	13:30	2024/2/29	10030	テスト患者-30	超音波	腹部-奇形腫12-	疾患名19	新生児科	入	依頼医師-19		7	100010030	2000010030								
	32	2024/2/29	15:31	2024/2/29	10032	テスト患者-32	超音波	頸部1コー	疾患名20	消化器科	入	依頼医師-20		7	100010032	2000010032								
確認リスト																	確認依頼		月例報告書		RIS_DB		+	

Fig.2 未読検査の抽出

新生児科
テスト依頼医3 先生

2024年9月18日

ゼネラルリスクマネージャー
テスト医師

画像診断報告書の未読について お知らせ

下記の報告書について未読となっているためご連絡いたします。
医療安全の観点から早急に報告書のご確認のほどお願い申し上げます。

記

患者ID	患者氏名	検査日	検査種別	依頼医師名	備考
10000001	テスト患者1	2024/09/05	ボーナブル	テスト依頼医3	
10000002	テスト患者2	2024/09/07	ボーナブル	テスト依頼医3	
10000003	テスト患者2	2024/09/08	ボーナブル	テスト依頼医3	

※電子カルテから画像診断報告書を展開するとステータスが既読となります。

印刷

診療科長氏名

備考用定形コメント

テスト科長1
テスト科長2
テスト科長3
テスト科長4
テスト科長5
テスト科長6
テスト科長7
テスト科長8
テスト科長9
テスト科長10
テスト科長11
テスト科長12
テスト科長13
テスト科長14
テスト科長15
テスト科長16
テスト科長17
テスト科長18
テスト科長19

午前中の撮影分

選択印刷

診療科名

新生児科
血液腫瘍科
集中治療科
消化器科
神経科
脳神経外科
泌尿器科

依頼医名

テスト依頼医8
テスト依頼医3
テスト依頼医4
テスト依頼医1
テスト依頼医2
テスト依頼医5
テスト依頼医6

Fig.3 確認依頼文書の印刷

作成を行う。確認依頼文書の作成から印刷までをクリック操作のみの単純な動作で行える仕様とした。

【考察】

今回作成したExcelツールを使用することで、短時間で確認依頼文書の作成までの処理が可能となった。電子カルテの機能と比較し、報告書確認状況を容易に識別できる点が作業効率向上に寄与したと考える。確認依頼文書の印刷機能を設けたことで、報告書確認状況の把握から依頼医師へ

の確認依頼文書の送付までを簡便に施行できるシステムを構築できたと考える。

【まとめ】

今回作成したExcelツールは処理の多くがボタン操作のみで行える簡便な仕様であり、報告書確認状況の把握や確認依頼文書の作成の効率化に有用であった。独自に確認システムを構築することで、費用をかけずに報告書確認状況の把握を容易とすることができた。